

世界の鉄道カードゲーム：拡張ルール

作者：James Eastham and Steve Ellis

訳者：COQ

コンポーネントリスト：

トンネルカード 10

スイッチカード 5

街カード（灰色） 5

機関車（ワイルド）カード 5

1の線路 10（5色各2）

2の線路 10（5色各2）

実業家カード 11

メモ：他の汽車駒と区別できる駒を用意すれば、5人プレイに十分な量の追加カードが同梱されています（訳者注：5人プレイの時は、機関車カードと線路カードを全て使用するのだと思います）。

実業家カード：

（基本ルール）ゲームの準備時、よくきった実業家カードを各プレイヤーに裏向きに2枚ずつ配ります。各自その中から1枚を手元に残し、残りをゲームから除外します。実力者カードは、手札の上限に数えません。

（ヴァリエントルール）実力者カードをよくきり、場に5枚表向けます。各自の手番時、1つのアクションとしてその中から1枚を獲得します（ステップ1のアクションの1つとして）。ただし、実業家カードは1人1枚のみ獲得できます。

スイッチカード：

ゲームの準備時、各自に1枚ずつスイッチカードを配ります。このカードは、各自が1度だけ、ゲーム中に新しい都市を繋げる際、線路の色を変更するために使用できます。

例：緑の線路を持つ街Aが場にあり、自分の手札にはオレンジの線路を持つ街Bがあります。スイッチカードを利用し、街Aと街Bを繋げたいと思っています。そこで、1枚以上の緑もしくはワイルドカードを街Aにプレイし、自分のスイッチカードをプレイした後に1枚以上のオレンジもしくはワイルドカードをプレイして街Bを配置します。その他の建設ルールは変更ありません。スイッチカードの両脇には、適切な色のカードかワイルドカードをプレイする必要があります。

メモ：スイッチカードは得点計算時に線路カードとして数えません。また、スイッチカードとトンネルを同時にプレイすることはできません。スイッチカードは、手札の上限に数えません。

トンネルカード：

ゲームの準備時、各プレイヤーは2枚のトンネルカードを受け取ります。各プレイヤーは1つのアクションとして、自分のトンネルカードで既に場にある2つの街を繋ぐことができます。ただし、各街の線路の色は同色でなければなりません。

例：街Cと街Dを繋げるには、街Cの最低1枚の線路の色に適合した線路カードもしくはワイルドカードをプレイし、次にトンネルカードを1枚プレイします。同じ様に、街Dにも適合するカードを最低1枚プレイし、トンネルカードを1枚プレイします。トンネルから街に繋がるそれぞれの路線に、自分の駒を置きます。これで、これらの街は繋がっていると見なし、荷物の輸送も行うことができます。

メモ：スイッチカードとトンネルを同時にプレイすることはできません。また、トンネルカードは得点計算時に線路カードとして数えません。トンネルカードは、手札の上限に数えません。

メモ：ゲーム終了時の街の支配を判定する際、支配の判定に数えるカードは、街とトンネルの間にあるカードのみです。トンネルを隔てて離れたところにある線路は判定に影響を与えません。

基本ゲームカード補充ヴァリエント：（カード補充の運要素を低減します）

3つの山札：街カード、線路カード、ワイルドカードを作成します。

山札は、以下の様に設置します：

街：カードを2枚オープンし、山札の脇に置く

線路：カードを3枚オープンし、山札の脇に置く

ワイルドカード：表向きの山札とする

各プレイヤーの初期手札は、ランダムに配られた価値2の街1枚、ワイルドカード1枚、ランダムに配られた線路カード2枚です。ここに、好きな拡張の要素に使用するカードを加えて下さい（実業家カード、スイッチカード、トンネルカード）。

ステップ2でカードを補充する際、以下の何れかからカード補充方法を選択します。

1)ワイルドカードを1枚とる

2)街カードを1枚とる（表向きもしくは山札の1番上から）

3)線路カードを2枚とる（表向きもしくは山札の1番上から）

（訳者注：表向けたカードをとった場合には、山札の1番上からカードを表向けて補充します）

これらのヴァリエントルールや拡張カードを好きな様に織り交ぜてプレイを楽しんで下さい。

【訳者注：灰色の街カードについての説明は公式ルールにありません。GEEKの作者発言から「灰色の駅は運ぶ為の荷物を生み出すだけの街」であると思われます。この街に荷物を運ぶことはできません。】

The Board Game Laboratory (<http://tbgl.p1.bindsite.jp/>)